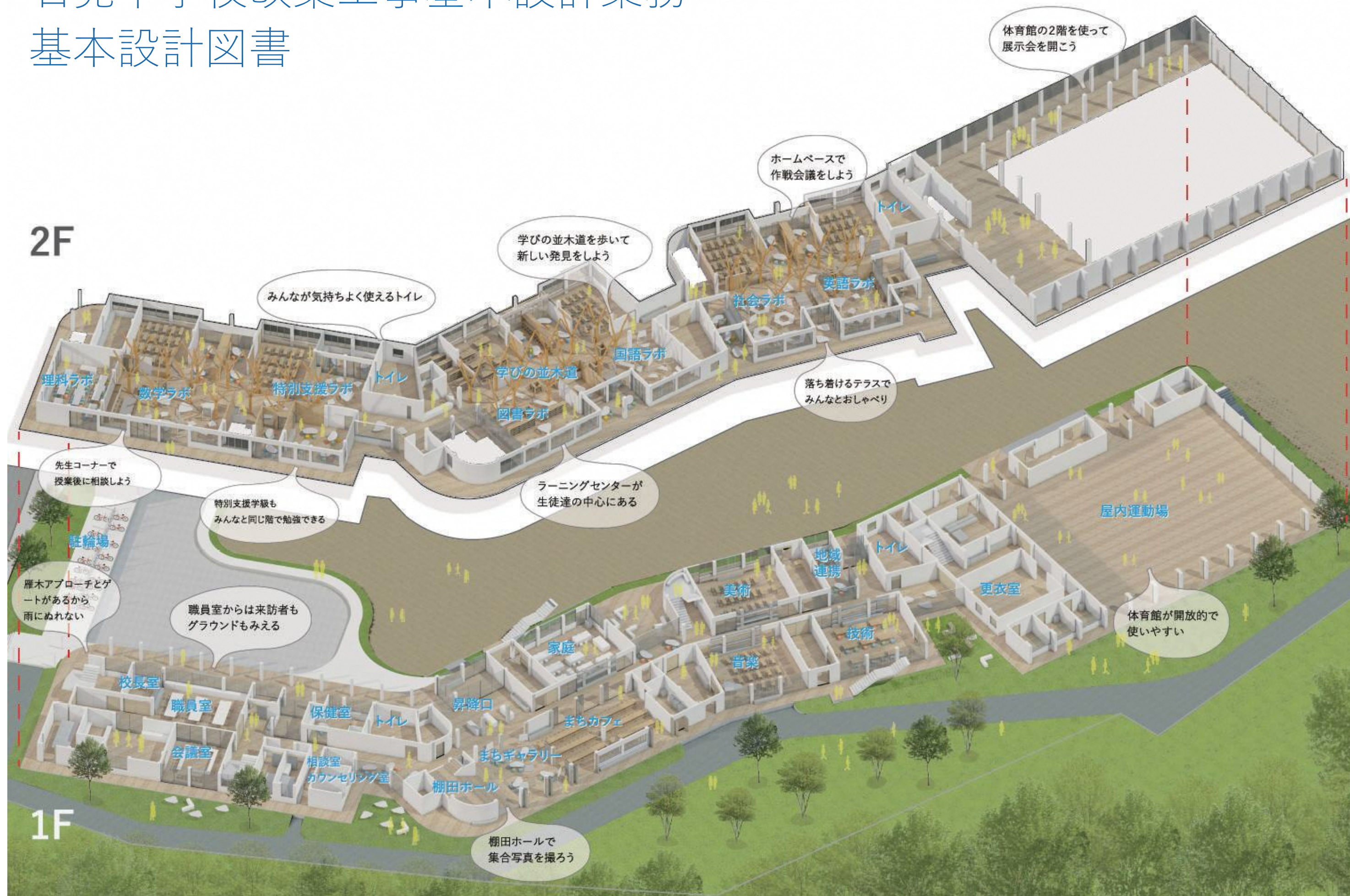


石見中学校改築工事基本設計業務

基本設計図書



①安心と安全

1. 生徒・教職員・地域住民の安全、安心、安定に配慮した学校づくり

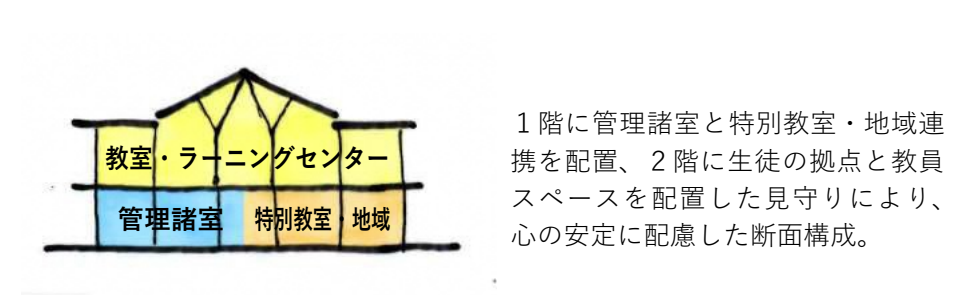
●周辺環境から導かれた建物の配置-配置計画-



●歩車分離の徹底と見守る環境づくり -動線・防犯計画-



●心の安定に配慮した断面構成 -断面計画-



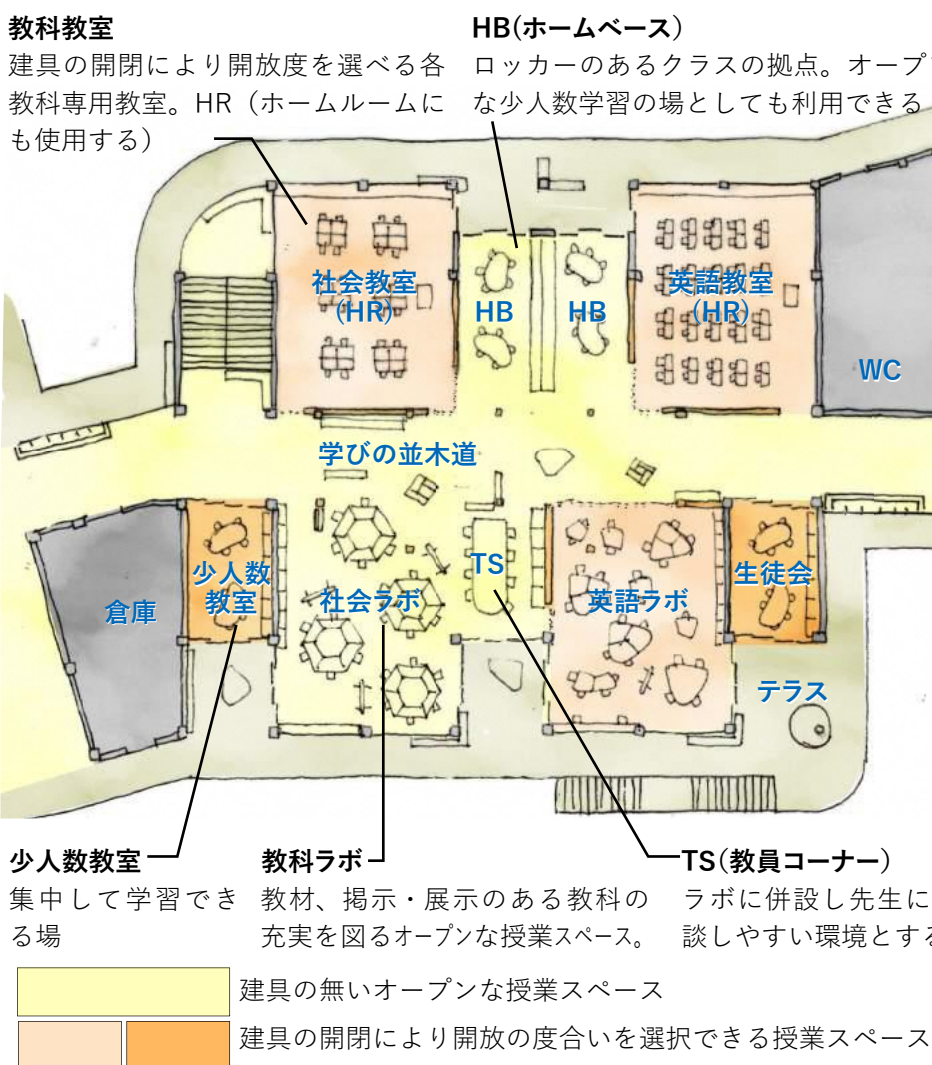
②教育と空間

2. 学びを育て、多様な交流を創出する学校づくり
3. 誰にとっても居心地よく、のびのび過ごせる学校づくり

●ラーニング・センターを中心とした「学びの並木道」



●生徒の活動内容・単位に呼応した空間 -教科センター方式-

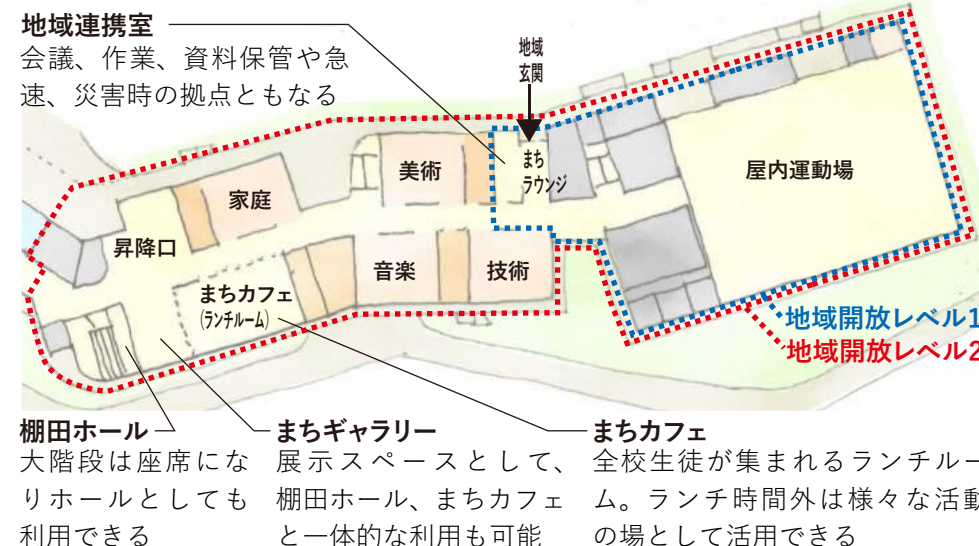


③石見で学ぶ

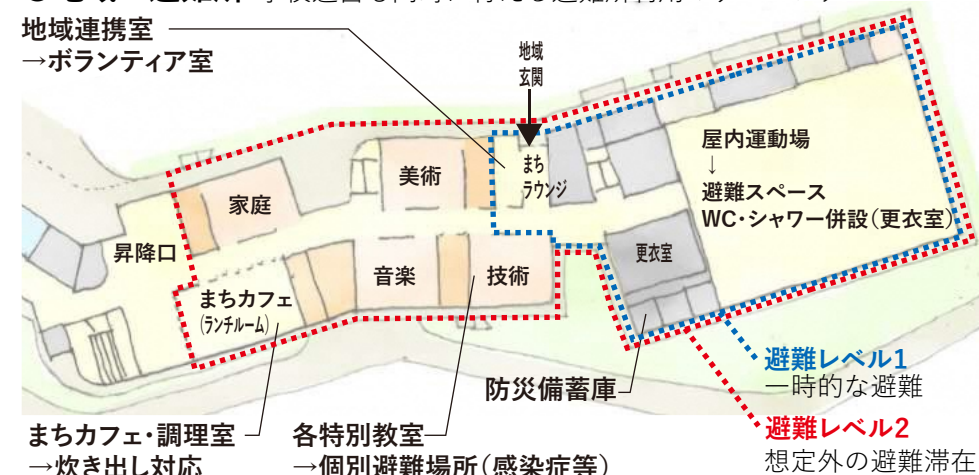
4. 地域と協働する開かれた学校づくり
5. 環境や風土に配慮した学校づくり

●地域と共に学ぶ石見中学校

地域交流ゾーンを1階にまとめ、開放ゾーンを段階的に選択できるゾーニング



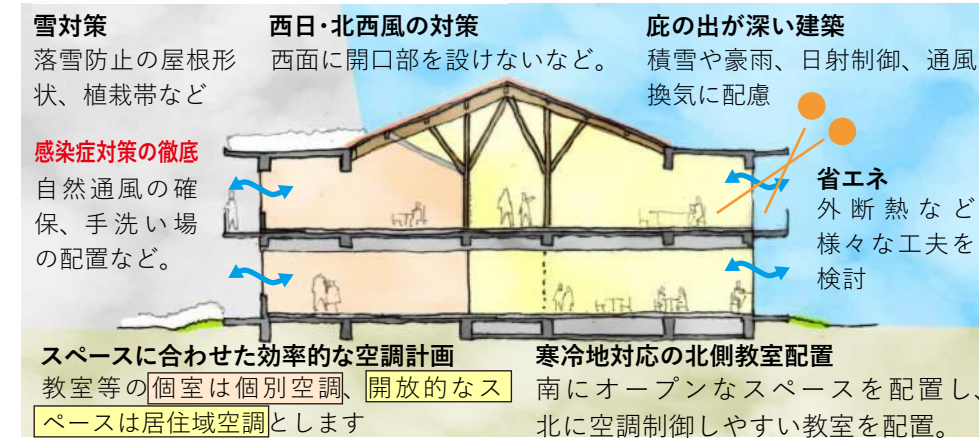
●地域の避難所 学校運営も同時に行える避難所利用のゾーニング



●石見の素材でつくる校舎 「石州瓦」「邑南町産木材」



●石見の気候・風土にあった校舎





南西俯瞰
既存校舎やがけ崩れ・倒木危険エリアを避けた配置



正門アプローチよりみる
石州瓦の屋根が周辺の景観と調和する



1階 雁木アプローチのイメージ
車寄せやアプローチから昇降口に向かう経路。職員室等の大人の居場所が配置され、日常的に生徒とコミュニケーションが取りやすく、アプローチの見守りもしやすい構成



校舎北側庭のイメージ
適宜平面的にくびれを設けた平面形状で、室内への再採光・通風を確保しつつ、グラウンドに面して屋外の日陰をつくる



まちカフェ、まちギャラリー前のイメージ
開放的な建具とし内外一体的な利用ができる



1階 まちラウンジと地域連携室のイメージ
地域の情報掲示がされた地域交流の拠点となるスペース



2階 学びの並木道のイメージ
樹状の柱が並び、様々な活動が溢れだす校舎の中心となるパス。右が教科教室、左が教科ラボ。



2階 学習ゾーンのイメージ
イメージ右がHB(ホームベース)とよぶロッカーのあるクラスの居場所。中央が各教科の教科教室。



2階 ラーニング・センターのイメージ(司書カウンターよりみる)
校舎の中心に配置したラーニング・センターが学習の拠点となる



2階 教科ラボのイメージ
左がTS(先生コーナー)で先生が身近にいて相談しやすい学習環境。教科ラボは各教科の学習教材、学習履歴が掲示され、各教科毎に特色ある学習ゾーンを形成する。オープンな授業スペースにもなる。



1階 棚田ホールをみる
階段状のスペースで発表や休憩など様々な活動に利用できる



1階 まちカフェからまちギャラリー、棚田ホールをみる
建具を開け放てば3つのスペースを一体的に利用できる



屋内運動場のイメージ
屋根を木造とした木の温かみある空間



- ...リノリウム
- ...ウッドデッキ
- ...フローリング
フローリング (屋内運動場用)
- ...タイルカーペット
タイルカーペット (職員室はOAフロア使用)
- ...長尺塩ビシート
長尺塩ビシート (WC用)
長尺塩ビシート (理科用)
- ...コンクリート
コンクリート (ウレタン塗膜防水)
- ...靴拭きマット



Coelacanth and Associates nagoya

プロジェクト名
石見中学校改築工事基本設計業務

図面名
全体平面図

縮尺	日付	番号
1/400	21/06/14	A-04